

市民参加プロセス計画書：産業労働計画後期計画策定

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

・本市は、「仕事のしやすい 働き甲斐のある 共創イノベーション都市 岡崎」を基本理念とし、業種の枠組みを超えて産業振興を一体的に推進するとともに、産業と雇用の両面から担い手の創出・育成を図ることを目指し「岡崎市産業労働計画」を推進してまいりました。  
 ・令和3年度から令和12年度までの計画期間の中間点にあたり、これまでの取り組みの進捗状況を検証するとともに、社会経済情勢の変化に対応するため、計画の中間見直しを実施いたしました。  
 ・計画策定時はコロナ禍であり、その後の産業構造の変化や働き方の変化は大きく、また令和5年大河ドラマ「どうする家康」放送の影響、現在も続く原材料高・エネルギー価格の高騰、人手不足により中小企業の経営がまだまだ苦しい状況が続いている中、本市における産業の発展、労働人財の活躍を支援するために後期計画の基本施策に反映します。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	令和6年1月	令和6年度第1回岡崎市産業労働計画推進委員会（本庁内会議室）	産業労働計画推進委員（学識者・商工団体関係者・産業振興及び労働施策推進に意欲のある市民などの多様な意見を計画に反映させるため）	・中間見直しスケジュールについて ・アンケート実施について	アンケート内容の確認（個人向け及び事業者向けアンケートの内容が中間見直しに必要な項目かの確認と同意を得る。
	令和6年9月～	市民向けアンケート・事業者向けアンケート	市民・市内事業者	・岡崎市の産業振興についてのアンケート ・働くことや購買についてのアンケート	中間見直しの資料として調査結果を得る
構想段階	令和7年2月	令和6年度第2回岡崎市産業労働計画推進委員会（本庁内会議室）	産業労働計画推進委員（学識者・商工団体関係者・産業振興及び労働施策推進に意欲のある市民などの多様な意見を計画に反映させるため）	・アンケート結果の提示 ・意見徴収	中間見直しの方向性について、合意を得るとともに、基本戦略の内容等について検討する。
	令和7年5月	令和7年度第1回岡崎市産業労働計画推進委員会（本庁内会議室）	産業労働計画推進委員（学識者・商工団体関係者・産業振興及び労働施策推進に意欲のある市民などの多様な意見を計画に反映させるため）	・新基本施策を盛り込んだ後期計画素案提示 ・新基本施策への意見聴取	後期計画の素案を示し、市の考えとのすり合わせを行う。項目、指標、具体的な計画内容について合意を得る。
計画段階	令和7年11月	パブリックコメント	・全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・後期計画（案） ・後期計画（案）に対する意見	後期計画（案）に内容に対する合意を得る。
	令和8年1月	令和7年度第2回岡崎市産業労働計画推進委員会（本庁内会議室）	産業労働計画推進委員（学識者・商工団体関係者・産業振興及び労働施策推進に意欲のある市民などの多様な意見を計画に反映させるため）	・パブリックコメントの報告、後期計画完成版の提示	完成した後期計画を提示する。
実施・運用段階					